

6. 静岡県西伊豆町 申請資料抜粋

地域のプロジェクト名	西伊豆町地方創生プロジェクト
申請者(地方自治体名・団体・企業名など)	静岡県西伊豆町
1. ご当地・施設の特徴	<p>静岡県東部、伊豆半島西海岸のほぼ中央に位置し、西側は駿河湾に、東側は急峻な山並みの天城山系が連なり、北と南にその支脈が海岸まで迫っています。東京から車で約3時間、一番近い電車の駅までは、車で45分から1時間とアクセスが良い場所ではありません。</p> <p>また、令和3年4月1日の人口は7,438人、高齢化率は静岡県内で最も高い50.93%です。</p> <p>基幹産業は観光業ですが、観光交流客数は右肩下がりに落ち込み、新型コロナウイルス感染症の蔓延前の20年間を比べると、約40%まで落ち込んでいます。駿河湾の恵みを受けた漁業が盛んでしたが、現在は少子化や高齢化により後継者が不足し、漁業や観光業ともに衰退が著しい状況です。</p> <p>このような状況の中で、町内でしか使用できない「電子地域通貨（サンセットコイン）」の仕組みを取り入れ、町内経済の循環を行い、「はんばた市場」を利用した「ツッテ西伊豆」などの事業を行い、外貨獲得を進めています。</p> <p>平成30年4月17日に認定されたユネスコ世界ジオパークの構成要素で、町内には奇岩や地層などの多くのジオスポットが点在しています。恋人の聖地である「堂ヶ島のトンボロ」とは、干潮時の潮位が50cm以下になると海を歩いて渡ることができる「道」のことを言います。トンボロを見ることのできる場所は全国的にも珍しく、県の天然記念物にも指定されています。</p> <p>また、西伊豆町は平成17年9月23日に「夕陽日本一宣言」を行ない、堂ヶ島と大田子海岸は「日本夕陽百選」に選定されています。</p> <p>特に、大田子海岸からの夕陽は一年の内、春分の日と秋分の日だけ田子島（雄島、女島）の真ん中に夕陽が沈む特別な場所です。</p>
2. 地方創生に結びつく活動目標・目的などについて	<ul style="list-style-type: none"> ・ 町内経済の循環 ・ 外貨獲得（観光客の増加） ・ 町の魅力発信 ・ 一次産業のテコ入れ ・ デジタル化社会への順応 ・ 移住・定住 ・ コロナ禍で疲弊している町民の心のケア
3. 地方創生に結びつく活動・実績などについて	<ul style="list-style-type: none"> ・ 「電子地域通貨（サンセットコイン）」開始 <p>西伊豆町内で使用できる独自の電子地域通貨（サンセットコイン）事業を開始しました。全町民に10,000ユーヒを入れたサンセットコインカードを配付しました。1ユーヒは1円です。</p> <p>このユーヒという単価の由来は、サンセットを日本語で夕陽と言い、西伊豆町が日本一夕陽の美しい町として宣言をしていることから、夕陽とユーヒをもじってユーヒという単価を名付けました。</p>

町内循環型の経済と電子決済を通じデジタル社会を築いています。

・「はんばた市場」オープン

令和2年5月に農林水産物直売所をオープンしました。

当町の一次産業は、主に農業と漁業が営まれています。どちらも小規模な個人経営がほとんどで、従業者の高齢化と担い手不足が進行しており、生産量・漁獲量は年々減少、遊休農地と休止漁船は年々増加するという負のスパイラルとなっています。地区内農林漁業の活性化を図るため、農林水産物直売所を建設しました。

・堂ヶ島火祭り

伝説の海賊退治をモチーフにした、恒例の花火大会です。例年は堂ヶ島1箇所の花火を打ち上げていますが、町内での新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止への感謝および悪疫退散を願い、町内4箇所の花火を打ち上げました。

・ふるさとまつり

町内の地域資源（自然環境・伝統文化・特産品など）を「西伊豆町ブランド」として再発信します。また、町民の一体化の促進や町民のふるさと再認識とまちづくりへの参画の気運の醸成の一躍を担っています。

・富士山キャンペーン

富士山キャンペーンと題して、静岡県民・山梨県民が西伊豆町に宿泊した際に、金額に応じたサンセットコインをプレゼントしました。

誘客事業として、主に観光客を対象とした外資を取込む事業で、富士山を囲む静岡県と山梨県にちなんで事業を実施しました。

プレゼントしたサンセットコインは、町内で飲食店や観光施設で利用され、次回の宿泊にも利用可能とし、外貨獲得に寄与しました。

・ツッテ西伊豆

町が提携している遊漁船で釣りを楽しんでもらうことで、釣った魚を産地直売所の「はんばた市場」において「サンセットコイン」で買取る仕組みです。この事業はコロナの影響による観光客の減少のほか、この町が抱えている高齢化・過疎化による漁業の後継者不足、また漁獲量の低迷についての対策として実施しています。

釣った魚は、すぐに船長が鮮度を保つための処理を行うことで、買取り後は他の商品と同様に販売することができます。また、サンセットコインで買取ることで、そのポイントは町内で確実に消費されるということで、非常に循環効率の良い事業となっています。

7. 成果・注目ポイント(写真と説明文)



(説明文)

・サンセットコインカード
町内で使用できる独自の電子地域通貨で、1ユーヒ1円として利用できるカードです。アプリもあります。



(説明文)

・「はんばた市場」
町内農林漁業の活性化を図るため、令和2年5月に農林水産物直売所がオープン。



(説明文)

・富士山キャンペーン
町内に宿泊した際に、金額に応じたサンセットコインをプレゼントしました。観光誘客に貢献しました。



(説明文)

・堂ヶ島トンボロ（干潮時）
干潮時には幅30m、長さ200mの海を歩いて渡る道ができます。



(説明文)

・堂ヶ島火祭り
伝説の海賊退治をモチーフにした、恒例の花火大会です。



(説明文)

・ふるさとまつり
まちづくりのため、町民の一体化の促進や町民のふるさと再認識とまちづくりへの参画の気運の醸成を目的とし開催しました。

7. 成果・注目ポイント(写真と説明文)

日本初！釣った魚を地域通貨で買い取る

ツッテ西伊豆

楽しく釣って

地域通貨と交換して

魚払いで町遊び！

釣った魚の料理もOK

自分で釣ると
美味しさも格別

くらになるか
ワクワク

飲食・宿・温泉
お土産など釣り店舗

くわしくは裏面へ

擬似体験
できる動画を
チェック

(説明文)

・ツッテ西伊豆

町が提携している遊漁船で釣りを楽しんでいただき、釣った魚を産地直売所のはんばた市場においてサンセットコインで買取る事業です。